

平成28年 熊本地震災害における 日本赤十字社の活動



平成28年4月14日以降、熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード7.3（暫定値）最大震度6強の地震は、熊本県を中心として大きな被害をもたらしました。

日本赤十字社は、地震発生直後に救護班を派遣。その後、全国各支部からdERU（緊急仮設診療所）を含む救護班30班以上が熊本県内に派遣され、現在も活動を続けています。

また、救援物資として毛布15,400枚以上、安眠セット2,000セット以上、緊急セット500セット以上、ブルーシート2,700枚以上を配布。（大分県への配布を含む）

わたしたちは、引き続き被災された方がたへの支援を継続します。

※情報はすべて4月18日13:30時点

4月15日0:54 深夜も緊急患者が次々に搬送される熊本赤十字病院



4月15日0:59 熊本赤十字病院を出発するDISASTER RESCUE(特殊医療救護車両)



4月15日 17:46 益城町総合体育館避難所に緊急救援車両を設置



4月15日 18:05 看護師に涙を見せる被災者 益城町総合体育館避難所にて



4月15日 18:51 益城町総合体育館避難所で診療活動にあたる日赤職員



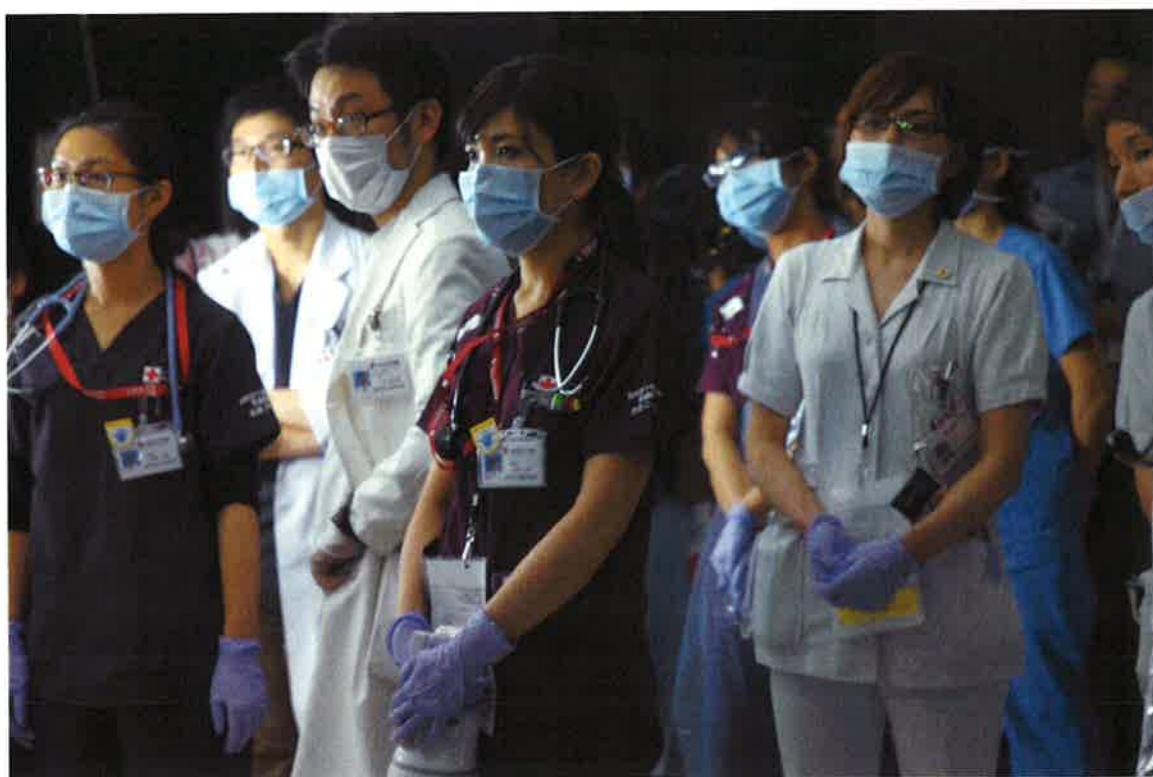
4月15日 19:55 益城町総合体育館避難所で安眠セットを配付



4月15日 益城町避難所で子どもの様子を診る看護師



4月16日 4:14 停電のなか緊急ミーティングを行う熊本赤十字病院の職員



4月16日 4:22 早朝から慌ただしい熊本赤十字病院



4月16日 5:00 熊本赤十字病院に搬送された被災者



4月16日5:51 次々に患者が搬送される熊本赤十字病院



4月16日13:36 益城町総合体育館避難所で脱水症状の処置を受ける子ども



4月16日 16:39 精神的不安に寄り添う看護師 益城町総合体育館避難所にて



4月17日 8:35 ミーティングを終え救護員出動 災害対策本部にて



4月17日 10:52 赤十字飛行隊（ボランティア）による物資の輸送



4月17日 15:03 地域を巡回し被災者の声を聴く 御船中学校体育館にて

